

鹿児島大学研究設備・機器の共用方針

令和6年3月5日
コアファシリティ推進本部制定

鹿児島大学は、「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドライン」（令和4年3月文部科学省）に基づき、本学の研究設備・機器の共用方針を以下のとおり策定する。

1. 研究設備・機器を本学の重要な経営資源の一つとして捉え、それを支える人材も含め、戦略的な維持・活用を推進する。
2. 役員、研究者、技術職員、事務職員、URA 等が協働する「チーム共用」を推進し、研究設備・機器の共用化を促進する。
3. 中長期的な「戦略的設備整備・運用計画」を策定し、研究資源の有効活用を図る。
4. 共用化した研究設備・機器の維持管理費については、可能な限り受益者負担とするよう努める。
5. コアファシリティ推進本部と関係部署が連携し、高度で専門的な知識・技術を有する技術職員のキャリア形成を推進する。
6. 学外者による研究設備・機器の利用を積極的に推進し、共同研究及び産学連携・地域連携を強化するとともに自立的な維持管理費の確保に努める。